

児童発達支援・放課後等デイサービス 評価表

はるの家(令和4年度)

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	7	2	・お部屋は広いとは言えないが近くの公園やケアプラザなど外の施設を利用しているので子供は満足していると思う。 ・スタッフさんを含めるとかなり狭いと感じる。ゆったり動けるスペースがあるとよい。 ・同じ日に何人のお友達と同じ部屋で過ごすかによると思う。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1	0	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	2	0	前に部屋に入ったのがだいぶ前なので正直あまりレイアウト覚えていません。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	17	1	0	
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	1	0	季節に応じてまたその時々で家ではできないことを経験できていると思います。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	9	5	特に求めています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	2	0	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	0	0	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1	0	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	13	1	この時期難しいと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	4	0	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	2	0	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信しているか	16	1	1	LINEやインスタの写真楽しませてもらっています。ありがとうございます。
14 個人情報に十分注意しているか	17	0	1	学校の連絡帳を勝手にみるのはやめてほしい。必要なら許可を得てからにしてほしい。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	1	0	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	3	0	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16	2	0	もう少し長く預けられたら助かります。
	18 事業所の支援に満足しているか	16	2	0	・長期休み時や就学児が朝から利用できないのが利用しづらいです。以前のように戻ることはないのですか？ ・コロナが落ち着いてきて様子を見ながら利用時間が以前の様に戻るといいなと思います。早帰りやお休みの間13:30~だと仕事に行けないので。 ・放課後デイの送迎場所が増えると嬉しい。 ・利用時間を長くしていただけるともっと日数を多く利用したいです。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	2	3	・狭い ・児童発達と放デイを分けることでスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3		3	・手すり等設置してるが段差が高く使用しづらい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		3	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	3		・個々で研修に参加している。 ・自主努力している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	1	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2	1	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	3		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	1		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	・公園等に行ったときに交流している。 ・地区センター等の施設を利用した時に交流できている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	1	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	3	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	1	・Instagramやラインで発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	3	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	3		
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2		
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	2	2	・そのような事例がない。 ・以前術後で上肢抑制が必要な児がおり保護者からの依頼により身体拘束の同意書を頂いた上で行ったことがある。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			

事業所自己評価シート(2022 年度)

* 職員による自己評価

A. 環境面

- ・スペースが狭い。
- ・スタッフ人数も含めると現状ご利用人数は午前午後4名が限界でスペースは狭い。
- ・児童発達と放課後等デイで分けることでなんとかスペースを確保している。
- ・トイレに手すりはつけたが段差があるため利用しにくい。

B. 児童への支援内容

- ・季節の製作やイベントを取り入れたり、いろいろな場所に散歩に出かけている。
- ・地域の方や保育園児とも散歩中に交流している。
- ・スタッフ個々で研修に参加している。
- ・障害のない子どもたちとも公園や地区センター等であいさつや少し一緒に遊ぶ機会がある。

C. 関係機関との連携

- ・計画相談のモニタリングへの協力やサービス担当者会議に参加している。
- ・対象児のケア見学や研修の受け入れを行っている。
- ・地域自立支援協議会に参加し各部会で現状報告と地域課題について検討している。

D. 保護者への説明責任・信頼関係

- ・活動報告はインスタグラムや各家庭とのラインにより発信している。
- ・コロナの為あきまつりをオンラインで行った。コロナが落ち着いてくればあきまつりでの交流が可能になると思う。
- ・問題が起きた時には代表理事と管理者で保護者へ状況説明を行い迅速に対応するようにしている。

E. 非常時対応

- ・術後等で身体拘束を必要とする場合、ご家族に同意書への記載を依頼している。
- ・虐待の研修に参加しカンファレンス時に全体に周知している。
- ・各種マニュアルは整備している。

* 保護者による評価

A. 環境面

- ・お部屋は広いとは言えないが、近くの公園やケアプラザなど外の施設を利用しているので子供は満足していると思う。
- ・スタッフさんを含めるとかなり狭いと感じる。ゆったり動けるスペースがあるとよい。
- ・同じ日に何人のお友達と同じ部屋で過ごすかによるかなと。

・前に部屋に入ったのがだいぶ前なので正直あまりレイアウトは覚えていません。

B. 支援内容

・季節に応じてまたその時々で家ではできないことを経験できていると思います。

・障害のないこどもと活動する機会を特に求めておりません。

C. 保護者への説明

・保護者会はこの時期難しいと思います。

・ラインやインスタの写真で楽しませてもらっています。ありがとうございます。

・学校の連絡帳を勝手にみるのは辞めてほしい。必要なら許可を得てからにしてほしい。

D. 非常時等の対応

・ご意見の記載なし。

E. 満足度

・もう少し長く預けられたら助かります。

・長期休み等就学児が朝から利用できないのは利用しづらいです。以前の様に戻ることはないのですか？

・コロナが落ち着いてきて様子を見ながら利用時間が以前の様に返るといいなと思います。早帰りやお休みの間 13:30~だと仕事に行けないので。

・放課後等デイの送迎場所が増えると嬉しい。

・利用時間を長くしていただけるともっと日数を多く利用したいです。

< 所内での分析 >

* 共通点

・活動場所が狭い。

・季節に応じた創作や近くの公園等いろいろな場所に出かけるなどいろいろな経験をしている。

・ラインやインスタを利用し活動報告ができています。

・保護者会はこの状況では難しい。

* 相違点

・学校の連絡帳の閲覧について口頭での説明であり同意書をとっていなかった。

< 事業所の強み >

・重心事業所として看護師と保育士というスタッフ構成で安全にご利用者を受け入れられる体制を整えている。

・医療的ケアの必要なご利用者が楽しめるように工夫しながらいろいろな活動を行っている。

・地域性を生かしながらいろいろな施設を利用したり商店街に出かけたりと地域の方との関りを大切にしている。

・連絡帳だけではなく SNS を通じて活動内容がより伝わるようにしている。

<事業所の改善点>

- ・活動場所および活動時間について継続して検討する。
- ・学校との連携を深める手段としての連絡帳の閲覧の有無についての確認方法を検討する。
- ・交流会について今年度はオンラインだったが感染状況や感染対策を行ったうえで会場での開催ができるか検討する。
- ・地域自立支援協議会を始めとする会議において得られた地域課題に関する取り組みや障害のある方に対する支援について情報提供を行っていく。

<事業所の改善への取り組み>

- ・公園が多く、商店街もあり、公共施設も多い周辺環境の良さを考えるとこの地域で移転先を見つけていきたいと思い今年度も移転先を探していた。なかなか見つからないが継続して探していきたい。活動時間についても移転先が見つからなければ現状時間延長は難しいためその旨周知ご理解いただけるようにすすめていく。
- ・学校送迎時だけでは申し送られない児の状態について把握するためには連絡帳の閲覧は重要だと考える。次年度は同意書を取り承諾を得たうえで体調確認のひとつとしていきたい。
- ・必要な情報がご家族に周知できるように会議への参加をしていく。

事業所名 はるの家
担当者 坂本 みゆき